

(仮訳)

第46回アジア太平洋航空局長会議(平成21年10月12日～16日、関西)

第46回DGCA会議(2009年10月12～16日、日本)にアジア太平洋地域の航空局長が会合した。前回会議で採択されたテーマトピック「シームレススカイ」について、航空交通管理(ATM)、航空貨物保安、航空安全という3つの側面に焦点を当てて議論を行った結果、「関西ステートメント」を発出することに合意した。

関西ステートメント

1. 私たちは航空の発展とグローバル化の拡大に伴い、メンバー国の多様性という特徴を持つアジア太平洋地域における民間航空の「調和」が極めて重要になってきていることを認識した。民間航空の調和により期待される事としては、航空機運航者が地域間を継ぎ目なく飛行ができるようになること、全ての航空ネットワークが合意されたレベルの安全性をもつこと及び透明かつ相互運用性のある基準が地域又は各国において整備されることである。この観点から、「シームレススカイ」は、航空交通管理、航空セキュリティ及び航空安全分野において特に重要である。
2. 航空交通管理(ATM)に関して、私たちはICAOが2025年を目標年として全世界的ATMシステムの構築及び実施を先導していることを確認した。全世界的ATMシステムは、全世界的ATM運用コンセプトに記載されている内容に基づくものである。また、米国と欧州が、それぞれ将来の航空交通近代化プログラム(NextGen, SESAR)を策定してきたことを確認した。これらの世界的な将来ATMシステムの流れに鑑みて、私たちは、地域全体からの積極的な参加及び協力により、アジア太平洋地域としての将来ATMシステムを計画する必要性を認識した。このため、私たちは、APANPIRG(ICAOアジア太平洋地域航空計画実施グループ会議)が目標やスケジュールを含んだアジア太平洋地域の将来ATMシステムの議論・計画を開始するプラットフォームであるということに合意した。
3. 航空セキュリティに関して、私たちは、航空貨物セキュリティを強化することの重要性を確認した。そうした努力により、アジア太平洋地域において、メンバー国が航空貨物の流れを守りつつ、保安水準を向上させ、貿易を促進させることを可能とする。これらの望ましい成果を効果的に達成するため、メンバー国は航空貨物保安について国際的に調和のとれた対策及びプロセスを策定するため、お互いに及びICAOと協力するよう促される。私たちは、情報及びベストプラクティスの更なる共有を促進すべきこと、そして航空貨物サプライチェーン全体の保護の必要性を考慮しつつ、航空貨物保安に関する規定を国際民間航空条約第17附属書に含めることを検討することに合意した。
4. 航空安全に関して、私たちは、航空安全性改善に向けたICAO活動の重要性を確認した。また、国の安全プログラムで想定される通りに、安全管理システム(SMS)の適切な実施を通じて航空機運航者が安全に関する最も高い基準を設定・維持するためのメンバー国の役割の重要性を認識した。さらに、私たちは、メンバー国に乗り入れる外国航空機に対する安全性監視の重要性を認識した。私たちは、この分野に係るアジア太平洋地域における協調を強化することについて合意した。
5. 私たちは、この会議より、アジア太平洋地域におけるシームレススカイの実現を更に進めることを決めた。私たちは、全てのメンバー国とICAOアジア太平洋地域事務所が協力しながら、当該地域における調和のとれた民間航空の発展に向けて前向きに進めていく努力をすることに合意した。

(仮訳)

LIST OF STATES/ADMINISTRATIONS

オーストラリア	モンゴル
バングラデシュ	ミャンマー
ブータン	ネパール
ブルネイ	ニュージーランド
カンボジア	パキスタン
カナダ	パプアニューギニア
中国	フィリピン
香港	韓国
マカオ	シンガポール
フィジー	ソロモン諸島
フランス	スリランカ
インド	タイ
インドネシア	東ティモール
日本	トンガ
ラオス	イギリス
マレーシア	アメリカ
マーシャル諸島	ベトナム